

精密工学専攻(博士前期課程)

授業科目	開講時期	単位数	カリキュラムマップ							
			◎：最も強く関連、○：強く関連、△：やや関連							
			DP1 「コミュニケーション力」 相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることができる。	DP2 「問題解決力」 自ら問題を発見し、解決策を立て、実行できる。実行結果は検証し、計画の見直しや次の計画に反映することができる。	DP3 「知識獲得力」 深く広く情報収集に努め、取捨選択した上で、知識やノウハウを習得し、関連付けて活用することができる。	DP4 「組織的行動能力」 チーム、組織の目標を達成するために何をすべきかを客観的に考え、適切な判断を下し、当事者意識をもって行動できる。その際、他者とお互いの意見を尊重し、信頼関係を築くような行動がとれる。	DP5 「創造力」 知的好奇心を発揮して様々な専門内外のことに関心をもち、それらから着想を得て今までになかった新しいアイデアを発想することができる。その際、関連法令を遵守し、倫理観を持って技術者が社会に対して負っている責任を果たすことができる。	DP6 「自己実現力」 自らを高める目標を求め、その達成のために道筋を考え、努力する。その際、自己管理と改善のための工夫を怠らない。	DP7 「多様性創発力」 多様性(文化・習慣・価値観等)を理解し、受け入れるとともに、自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を伝えることができる。複数人の協働により、その規模にふさわしい成果を得ることができる。	DP8 「専門性」 学科に応じた専門性を身に付けている。
★センシング特論第一	前期	2		○	○			○		◎
制御工学特論	前期	2		○	○			○		◎
情報ナノシステム特論	前期	2		○	○			○		◎
デジタル生産工学特論第一	前期	2		○	○			○		◎
★ナノバイオテクノロジー特論	前期	2		○	○			○		◎
★固体力学特論第一	前期	2		○	○			○		◎
固体力学特論第二	後期	2		○	○			○		◎
音響システム特論第一	前期	2		○	○			○		◎
計算機統合生産演習	前期	2		○	○			○		◎
★マイクロマシン特論	前期	2		○	○			○		◎
マイクロシステム特論	前期	2		○	○			○		◎
アクチュエータ工学特論	前期	2		○	○			○		◎
バイオメカトロニクス特論	前期	2		○	○			○		◎
流体工学特論	通年	4		○	○			○		◎
ヒューマンインタフェース特論第一	前期	2		○	○			○		◎
★Academic Writing	前期	2								◎
★英語プレゼンテーション入門	後期	2	○							
★マイクロ・ナノロボティクス特論	前期	2		○	○			○		◎
生産情報システム特論第一	前期	2		○	○			○		◎
生産情報システム特論第二	後期	2		○	○			○		◎
熱移動工学特論第一	前期	2		○	○			○		◎
熱移動工学特論第二	後期	2		○	○			○		◎
★ナノ・マイクロ材料評価学特論	後期	2		○	○			○		◎
構造・機能材料科学特論	後期	2		○	○			○		◎
精密工学論文研修第一	前期	3	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
精密工学論文研修第二	後期	3	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
精密工学論文研修第三	前期	3	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
精密工学論文研修第四	後期	3	○	◎	○	○	◎	○	○	◎

★印の科目は原則英語で実施します。